

料金別納郵便



伊勢崎晃一郎 展

令和3年4月22日(木)~28日(水) 会期中無休

開廊時間: 午前11時~午後7時(最終日28日は午後5時まで)

作家在廊日: 4月22日(木)~25日(日) 予定

陶歴 昭和49年 岡山県備前市伊部に人間国宝 伊勢崎 淳の長男として生まれる
平成8年 東京造形大学 彫刻科 卒業
平成10年 渡米 ニューヨーク在住の陶芸家 ジェフジャピロ氏に師事
平成12年 帰国後父 伊勢崎 淳に師事
平成21年 第26回 田部美術館 茶の湯の造形展 奨励賞(平成24,28年)
平成22年 第53回 日本伝統工芸 中国支部展 日本工芸会賞
平成26年 第15回 福武文化奨励賞
令和2年 伊勢崎晃一郎展 成る (LIXIL ギャラリー、東京)

コロナ禍前の師走の一日。新宿柿傳の残月亭にて茶会を催しました。掛け物は川端康成先生の「面白」二字をかけ、その前には、備前焼の名工、伊勢崎晃一郎さんの「孕(よう)」と名付けられた存在感のある花入を置きました。この「孕」に白椿をたっぷり入れ、まさに「面白」い床が誕生しました。「孕」は土の塊を晃一郎さんが塩梅よくひしゃげさせた一風ある器で、花も映え、私の五大愛用花入の一つです。

さて、二年半振りとなる晃一郎展を開催致します。晃一郎作品の焼成時間は8日という長期間。この間、薪をくべ続けるので、窯焚き作業には頭が下がります。その長期間の焼成より生み出される作品は、風格と品格を併せ持ち、一見して彼の作品と分かる力強い存在感を放ちます。先日、最新作の白茶盃(裏面作品)を柿傳の薄暗い小間に持ち込みました。素直な造形に、口作りの稜線がほんのわずかにうねり、そこもなんととも言えぬ茶味を醸し出し、抹茶を入れるとさぞ美味しい一服が頂ける事でしょう。

本展では、最新作の茶碗や花入など約60点を発表します。その飾らないお人柄で皆から慕われる晃一郎さんもご在廊の予定です。コロナ禍の最中のご案内で恐縮ですが、ご清覧頂ければ幸いです。

いつか再び「孕」を使って、昔の様に皆様と茶の湯を楽しめればと思っています。次は何をいけようか、考えただけで楽しくなる、そんな花入にはなかなか出会えません・・・。

店主 安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
<https://www.kakiden.com/gallery/>



コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

